

## 取扱説明書

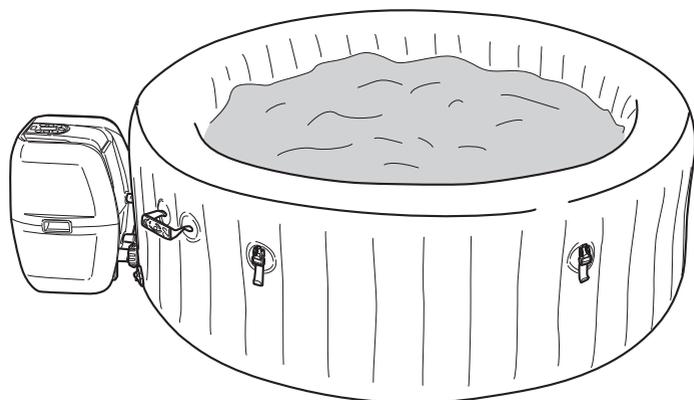
### エアジェットスパ マイアミ 4 1.8m×66cm ブラック

品番 60002

### エアジェットスパ イビザ 6 1.8m×1.8m×66cm グリーン

品番 60016

この度は、弊社の商品をご購入いただき、誠にありがとうございます。  
本商品のご使用前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。  
また、お読みになった後はいつでもご覧になれるよう、大切に保管してください。



イラストはエアジェットスパ マイアミ 4 1.8m×66cm ブラック(品番60002)です。  
商品の外観は品番により異なります。

- 設置・使用方法等については、必ず付属のマニュアルおよび本取扱説明書に従って行ってください。
- 本商品はWi-Fiには対応していません。付属のマニュアルは該当する箇所のみ確認してください。



## **警告** 死亡、重傷などのおそれあり

- 運動具やお子様の遊具等、目的以外の使用や改造はしないでください。
- 事故による溺死の危険性(特に5歳未満の子ども)、子どもによる無許可利用を防ぐため、注意を払ってください。大人の監督者が利用手段を確保するか、安全保護装置を設置してください。使用中の事故を避けるために、子どもは常に大人の監視下に置いてください。
- 窒息のおそれがあるため、カバーをかぶせた状態で使用しないでください。  
特にお子様には十分注意してください。
- 記載事項は、一般的なリスクに対処していますが、すべての場合の危険や事故を回避できるものではありません。

### **感電や漏電についての警告**

- 10mA以上の漏電が確認された場合、電源コードに組み込まれた漏電遮断器装置が作動し、電源供給が停止します。すぐに電源プラグを抜き、使用を中止してください。  
お客様での修理はしないでください。
- 漏電事故防止のため、アース線を確実に取り付けてください。  
プラグ型漏電遮断器の動作ができなくなり、故障や漏電のときに感電する危険があります。
- 外部スイッチや、ON/OFFタイマーなどを本商品に接続しないでください。
- 接地(アース)機構を有する電源でご使用ください。
- 接地(アース)接続を必ず行って、ご使用ください。
- スパ本体の電源コードは、埋設しないでください。
- 延長コードなどを使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。
- 感電などの事故を避けるために、豪雨や雷雨といった悪天候時は使用しないでください。
- スパ入水時、スパ本体・循環ポンプから2m以内に電気を利用する電気製品(照明・音響機器・映像機器・充電器など)を置かないでください。2m以上の場所でも、感電が想定される場合は、使用しないでください。
- すべての金属からスパ本体・循環ポンプを2m以上離してください。
- 電源コードを、草刈り機・芝刈り機などで破損させないでください。  
また、電源コードへ圧迫や損傷を与える行為はしないでください。
- 使用しない時は、電源プラグをコンセントより外してください。
- 電源プラグは常に乾いた状態にしてください。
- スパ入水時や、身体が濡れている時は、絶対に電源アダプターを使用しないでください。
- 循環ポンプを、スパ本体や水へ落下させたり、水没させたりしないでください。



## 注意

けが、事故などのおそれあり

### 設置場所について

---

**電源を供給するコンセントから、4m以上離れた場所に設置してください。**

- 以下のような場所に設置しないでください。破損や事故の原因となります。
  - ・危険な場所や通行の妨げになる場所、強い振動、衝撃のある場所
  - ・地面に小石や砂利の多い場所や、傾斜や段差のある不安定な場所
  - ・風の強い場所、高い場所…強風時に倒れたり、落下すると危険です。
  - ・火気の近くや高温になる場所…熱の影響により、商品の变形や火災の原因になります。
  - ・滑りやすい場所…転倒してケガの原因になります。また、スパ本体および循環ポンプが動くおそれがあります。
  - ・芝生の上や、植物が生育する場所…植物が枯れるおそれがあります。
  - ・尖った植物や雑草がある場所…ライナーを破り、生長し、水漏れの原因になります。
  - ・柔らかい土壌の上…沈んだり、傾いたりするおそれがあります。
  - ・近くに電気の配線がある場所…感電や、漏電・火災の原因になります。
- 周囲に尖ったものがないか必ず確認してください。
- 安定した場所に設置してください。
- スパ内の水と、スパ利用者の重量に耐えられる場所に設置してください。  
強度が不足する場所での使用は、スパ本体の倒壊や設置面の陥没、破損につながるおそれがあります。

### 組み立て時

---

- 安全のため、3人以上で作業を行ってください。
- 組み立ての際は、手や指を挟まないよう十分ご注意ください。
- 組立手順に従い、すべての部品を確実に取り付けてください。  
組み立て完了後、部品にゆるみがないか確認してください。ゆるんだままで使用すると危険です。

### 使用時

---

- **本商品の性能・性質が理解できる監督者の下で使用してください。**  
**特に、お子様だけの使用は絶対にしないでください。**
- **水面へ飛び込まないでください。重大な事故やケガにつながるおそれがあります。**
- **水中に潜らないでください。重大な事故やケガにつながるおそれがあります。**
- 必ず、水道水を使用してください。温泉水や井戸水、海水、川水、着色した水等は、水質低下、本体の故障や破損、劣化の原因になります。
- 入浴剤などは使用しないでください。
- 注水時は、必ず近くで監視してください。
- あふれるほど注水すると、スパ本体が破損したり、つぶれたりするおそれがあります。  
水の目安：最大位置(MAX.)まで
- 安全対処用具(救命用具など)を近くに設置しておくことをおすすめします。
- 必ず、水温の確認を行ってください(安全な設定温度で使用してください)。
- 設定水温を確認し、通常スパを使用しない時間帯は、水温を下げることをおすすめします。

- 悪天候(強風・豪雨・積雪・雷)の状況で使用しないでください。けがや感電など事故の原因となります。
- 環境温度が低下する季節は、注水したまま放置すると凍結して、破損するおそれがあります。
- 水を入れた状態での移動は非常に困難です。移動する際は、水を抜いてください。  
また、その際は絶対に引きずらないでください。
- スパ周辺に、踏み台を放置しないでください。
- 使用前に、必ずカバーをすべて取り外してください。
- 水を入れた状態で数日放置する場合は、安全確保のためカバーを取り付けてください。また、安全フェンスなどで侵入防止の対処を行い、特にお子様近づかないよう注意してください。
- 大雨の際は、あらかじめ水を抜いて、水があふれないようにしてください。
- 破損した場合は、使用を中止してください。破損したままで使用していると事故の原因となります。

- 飲酒、薬を服用している場合はスパに入らないでください。  
眠気を誘発する場合や心拍数、血圧、循環器に影響を与えるおそれがあります。
- 肥満の方、心臓病、低血圧、高血圧、循環器系疾患、糖尿病の既往歴のある人は、ご利用前に医師に相談してください。
- 感染症を患っている人は、利用しないでください。
- 激しい運動の直後は、利用しないでください。
- 常に頭を水につけないでください。
- スパ内の水を飲み込まないでください。
- スパに入るときは、コンタクトレンズを絶対に装着しないでください。
- 化粧品、ローション、その他の皮膚上の残留物は水質を急速に悪化させます。  
事前にシャワーを浴びることをおすすめします。
- 足の裏の汚れ等をきれいにしてから、スパに入ってください。

## ご理解ください

- 不特定多数の方が頻繁に使用する公共空間や商業施設では、耐久性が極端に低下するおそれがあります。  
定期的な点検を実施し、商品の安全性に十分配慮してください。
- 紫外線の影響により、スパ本体、循環ポンプ等の劣化、変色が進みます。
- 紫外線などにより劣化が進みますので、定期的なメンテナンスをおすすめします。  
また破損、割れが確認された場合、事故防止のため、使用を中止してください。
- 長くご使用いただくため、ご使用後は雨、風、日光の当たらない場所での保管をおすすめします。

## お手入れについて ※メンテナンス方法については、P.25をご確認ください

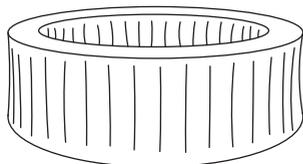
- 長期間使用しないときは、必ず水を抜いてください。
- 水を抜いた状態で、スパ本体をそのまま放置しないでください。風の影響で、変形や設置場所から移動する等のおそれがあります。
- 水を抜いたあとは、水道水でスパ本体をすすぎ、汚れ等を取り除いてください。
- 完全に乾かしてから収納してください。濡れた状態で収納すると、本体の劣化や性能が低下するおそれがあります。
- 安全のため、定期的に部品のゆるみ、ガタツキがないか確認してご使用ください。

# 部品の確認

部品の種類と数をお確かめください。

イラストはエアジェットスパ マイアミ 4 1.8m×66cm ブラック(品番60002)です。

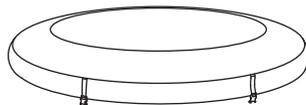
商品の外観は品番により異なります。



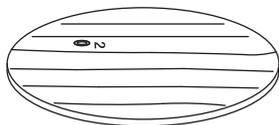
① スパ本体×1



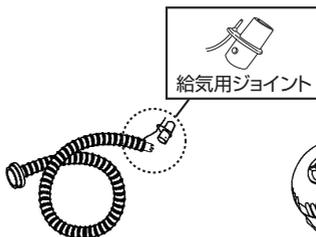
② 循環ポンプ×1



③ カバー ×1



④ インナークッション×1



⑤ エアー用ホース×1



⑥ 給水カバー×1



⑦ 排水カバー×1



⑧ 保護キャップ×2  
※①スパ本体に取付済



⑨ コネクター×1



⑩ エアーバルブ×1



⑪ エアー用保護キャップ×1  
※①スパ本体に取付済



⑫ フィルター×1  
※⑥給水カバーに取付済



⑬ 排気用ノズル×1



⑭ 排気用ジョイント×1

## 補修シール

(2種類付属していますが、透明タイプは  
本商品では使用しません)



補修シール  
※6.5cm四方のシール  
(黄色い台紙)

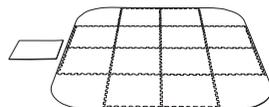


10cm四方の  
透明シートは  
本商品では使用しません

## 消耗品およびオプション(別売)



エアジェット  
フィルターカートリッジ  
2個セット  
(品番 60311)  
※⑫フィルターの交換用



フロアプロテクター  
1.96m×1.96m  
グレー  
(品番 60334)  
※専用フロアマット

# 設置の前に…

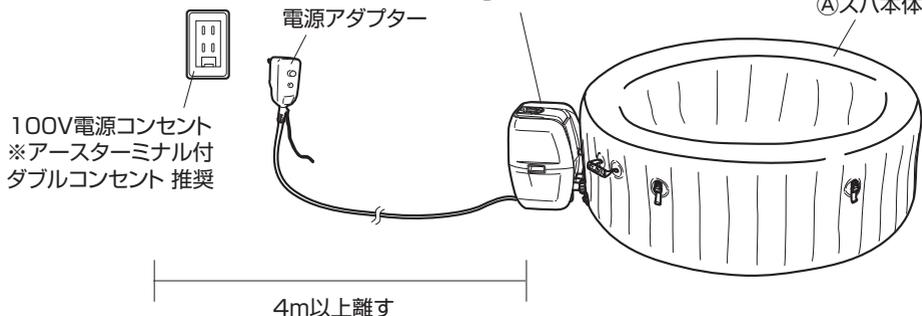
## 1 設置場所の確認

- スパには、水および利用者の重量が加わります。  
設置場所は、それらの重さが均一に耐えられる場所を選んでください。
- ※排水の必要があるため、水はけのいい場所に設置してください。
- ※泥の上や、地盤がゆるい場所などでは使用できません。
- ※設置場所の耐荷重を確認してください。
- 水質管理のため、塩素等を水に投入する必要があります(詳細は、P.25「必ず守ってください」参照)。  
排水により、植物や土壌に影響をおよぼすおそれがある場所には設置しないでください。
- 水に濡れてはいけないものの近くには設置しないでください。

## 2 電源について



延長コードは使用しないでください。延長コードの加熱・焼損、発煙、発火により、商品の破損や火災のおそれがあります。



## 3 冬期の使用について

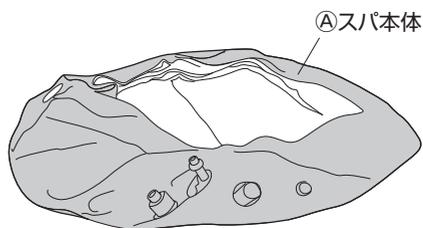
外気温が10℃以下になると、スパ本体や循環ポンプに損傷が生じるおそれがあります。

- 梱包した状態で、15℃以上の屋内で保管してください。
- 屋内(15℃以上)で開梱し、循環ポンプのヒーターを利用しながら商品を膨らませます。
- 屋外で使用する際は、設置したい場所にスパ本体を置き、循環ポンプと接続後に水を入れます。  
水温は6℃以上であることを確かめてください。6℃を下回る場合は、エラーが表示されます。

# 組立方法

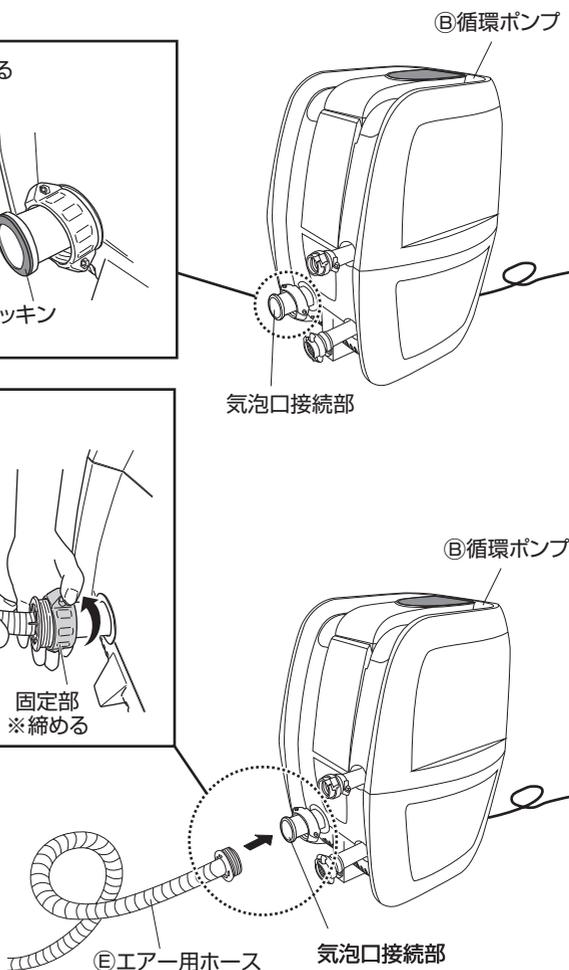
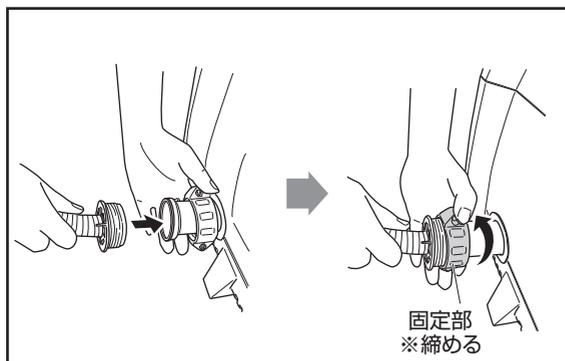
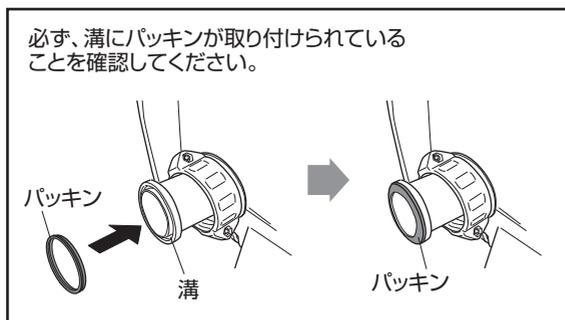
## ① スパ本体を置きます

- ① スパ本体を設置したい場所に置きます。  
※コンセントの位置を必ず確認してください。
- ※① スパ本体を引きずったり、尖ったもの等で  
ひっかかないでください。  
破損するおそれがあります。



## ② 循環ポンプにエア用ホースを接続します

- ② 循環ポンプの気泡口接続部に③ エア用ホースを  
接続します。



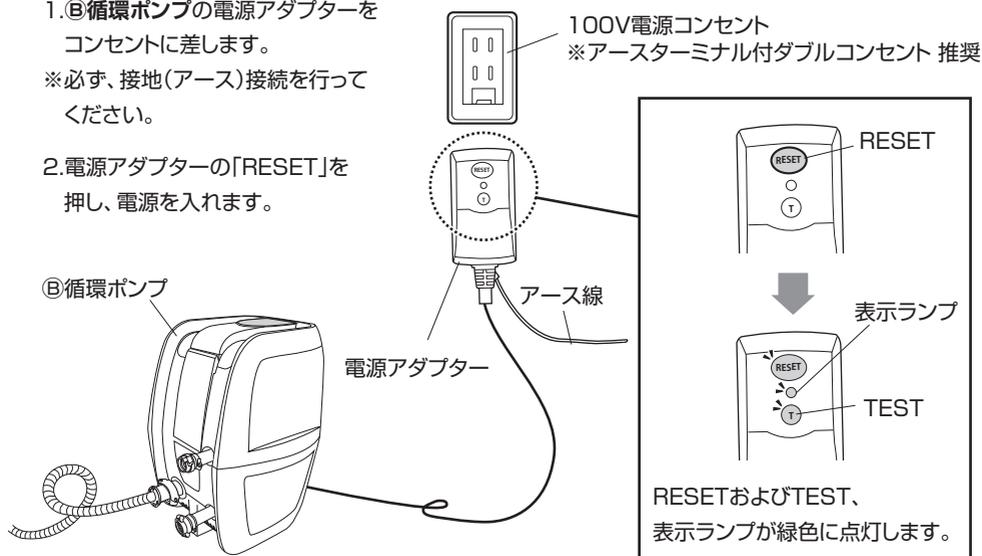
# 組立方法

## 3 電源を入れます

1. ⑧循環ポンプの電源アダプターをコンセントに差しします。

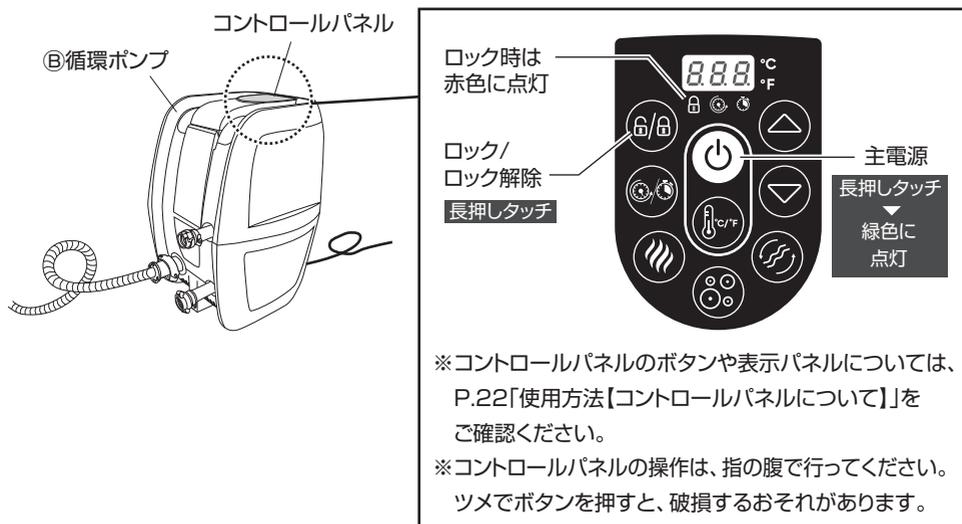
※必ず、接地(アース)接続を行ってください。

2. 電源アダプターの「RESET」を押し、電源を入れます。



3. ⑧循環ポンプのコントロールパネル「主電源」を押します(長押しタッチ)。

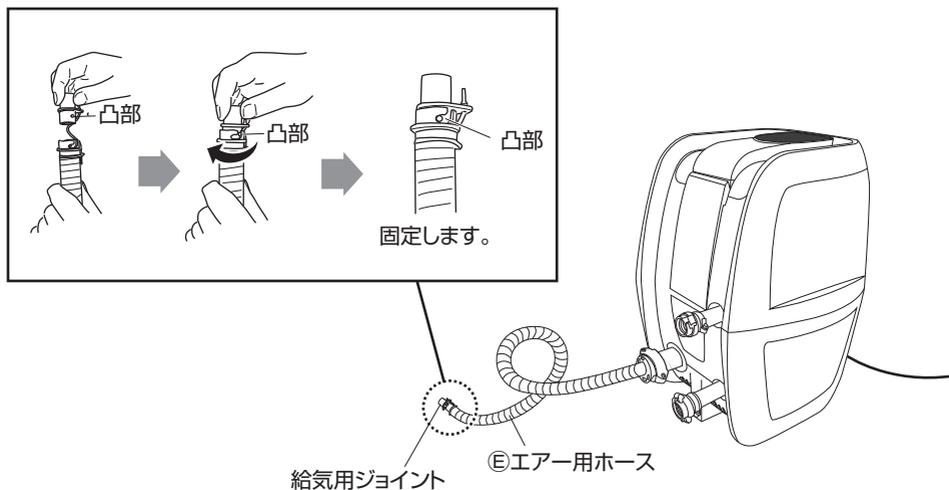
※5分以上、操作しないと、自動でロックがかかります。ロックがかかったときは「ロック/ロック解除」を押してください(長押しタッチ)。



# 組立方法

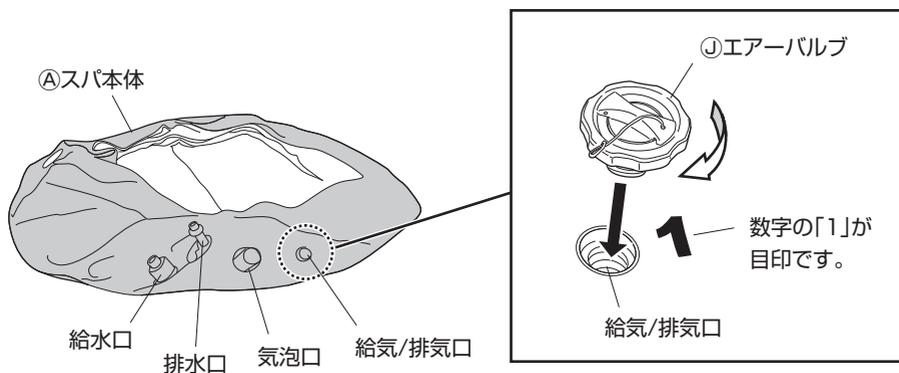
## 4 スパ本体に空気を入れます

1. ⑥エア用ホースの先端に、給気用ジョイントが取り付けられていることを確認します。  
※外れている場合は、以下の手順で取り付けてください。



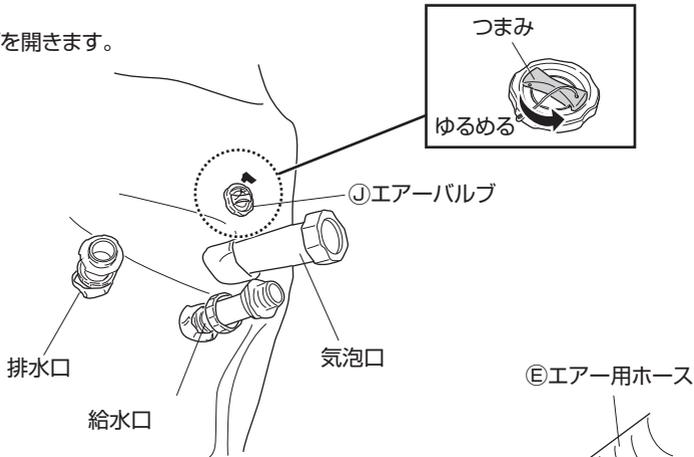
2. ④スパ本体に、⑨エアバルブを取り付けます。

※確実に、しっかり締めてください。ゆるんでいる場合、正常に空気が入りません。



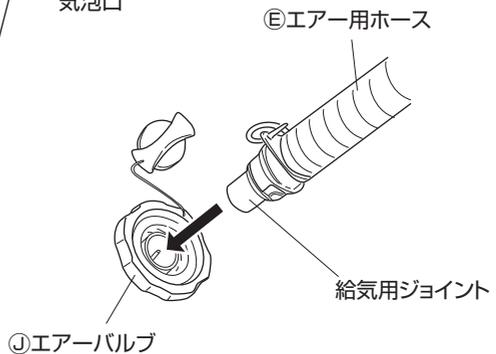
# 組立方法

3. ④エアバルブを開きます。



4. ④エアバルブに、⑤エア用ホースの給気用ジョイントを差し込みます。

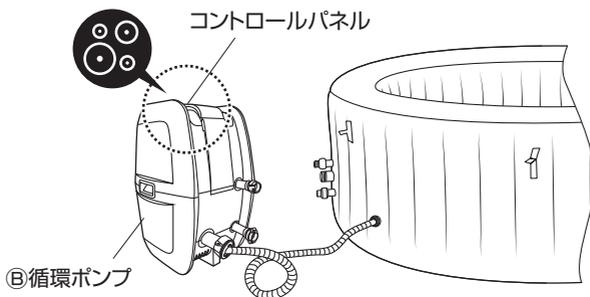
- ※給気用ジョイントは奥までしっかり差し込んでください。
- ※必ず、給気用ジョイントが抜けないう確認してください。



5. ⑥循環ポンプのコントロールパネル「気泡発生モード」を押します。

⑥循環ポンプが作動し、①スバ本体に空気が送り込まれ、膨らみます。

- ※作動しないときは、⑥循環ポンプのロック機能が作動しているおそれがあります。P.8「③電源を入れます」を参照の上、ロックを解除してください。



6. 手で空気の入り具合を確認しながら、空気量を調整します。

停止する際は、再度、コントロールパネル「気泡発生モード」を押します。

- ※自動停止しません。

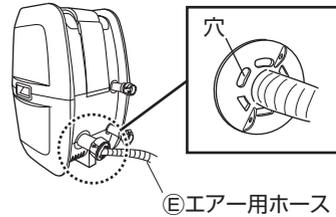
# 組立方法

## ⚠ 空気を入れる際の注意

空気を入れすぎると、スパ本体が破損するおそれがあります。  
空気が少ないと、使用中に、スパ本体が倒壊するおそれがあります。

- 空気を入れているとき、エアー用ホースのつなぎ目(穴)から空気が漏れます。商品の異常ではありません。【図1】
- エアー用ホースの穴をふさがないでください。適切な圧力でスパ本体をふくらませる構造になっています。穴をふさぐと、適切な圧力がかからず、スパ本体に空気が過剰に入り、破損するおそれがあります。【図1】
- スパ本体をふくらませるために、付属の循環ポンプ以外は使用しないでください。

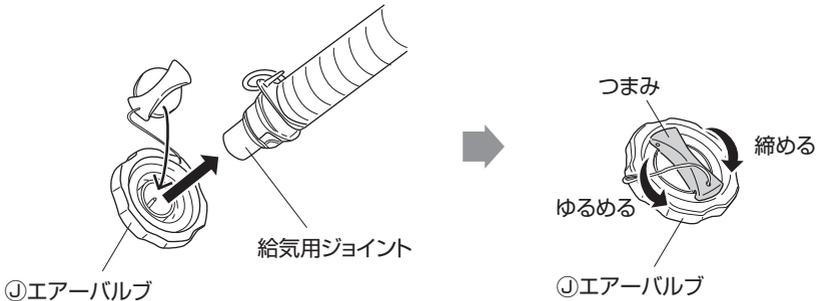
【図1】



7. ④エアーバルブからEエアー用ホースの給気用ジョイントを抜きます。

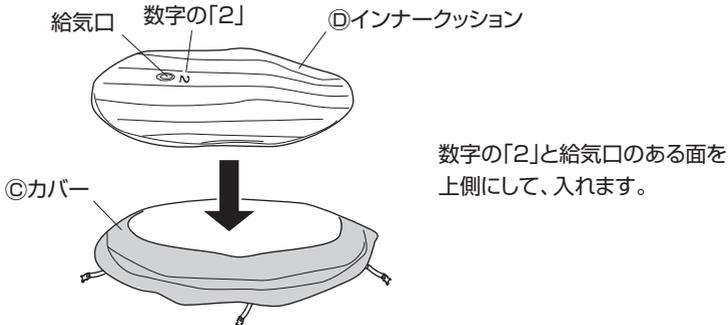
④エアーバルブを締めます。

※④エアーバルブにゆるみがあると、空気がもれ、Aスパ本体がしぼみます。



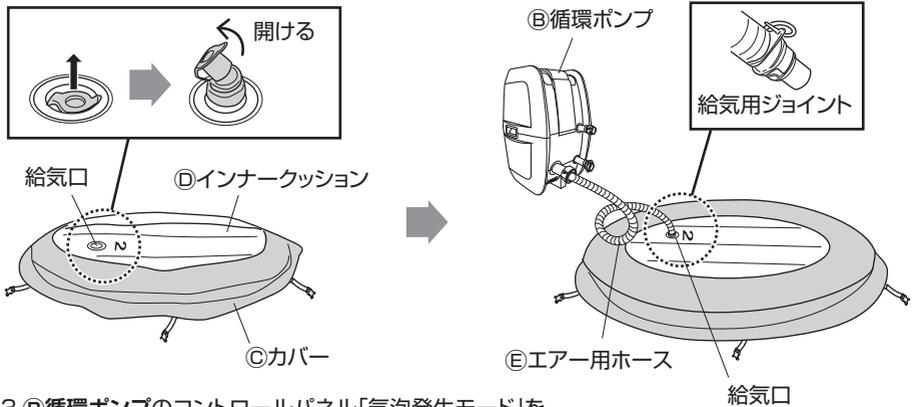
## 5 カバーを膨らませます ※平らな場所で膨らませてください。

1. ③カバー裏面の開口部にDインナークッションを入れます。



# 組立方法

2. ⑩インナークッションの給気口を開き、⑤エア用ホースの給気用ジョイントを差し込みます。



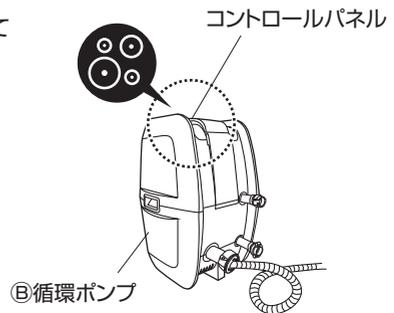
3. ③循環ポンプのコントロールパネル「気泡発生モード」を押します。③循環ポンプが作動し、⑩インナークッションに空気が送り込まれ、膨らみます。

※作動しないときは、③循環ポンプのロック機能が作動しているおそれがあります。ロックを解除してください。

4. 手で空気の入り具合を確認しながら、空気量を調整します。停止する際は、再度、コントロールパネル「気泡発生モード」を押します。

※自動停止しません。

5. ⑩インナークッションの給気口を閉じます。

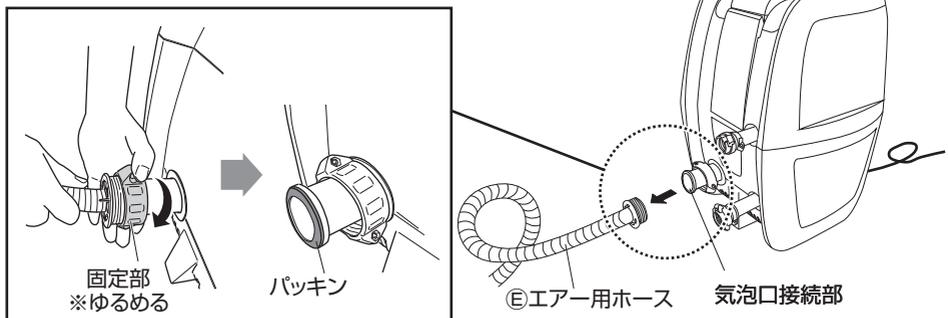


## 6 エア用ホースを取り外します

③循環ポンプから⑤エア用ホースを取り外します。

※P.7「② 循環ポンプにエア用ホースを接続します」と逆の手順です。

※パッキンを紛失しないように注意してください。



# 組立方法

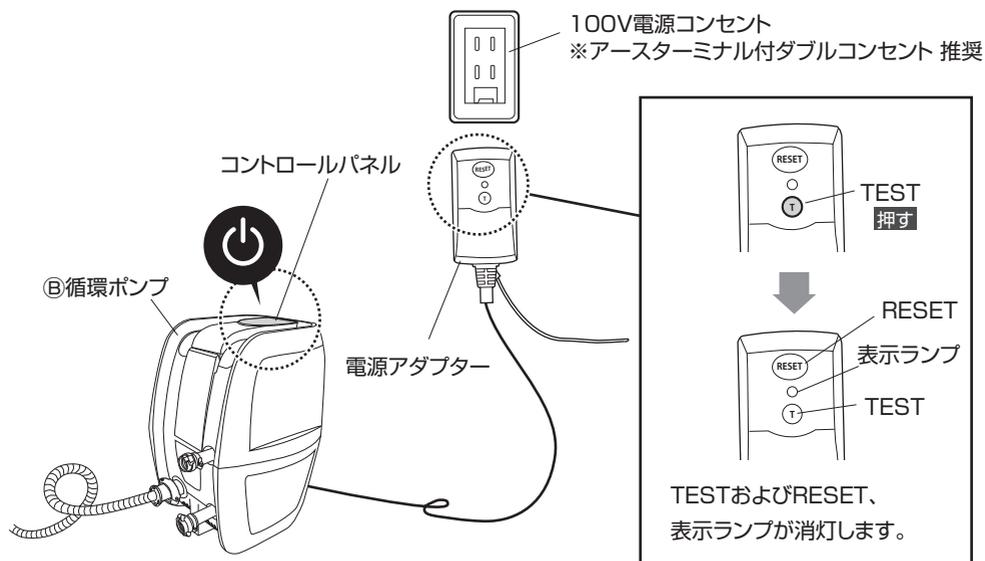
## 7 電源を切ります

1. ⑧循環ポンプのコントロールパネル「主電源」を押します(長押しタッチ)。

※主電源のランプが消灯します。

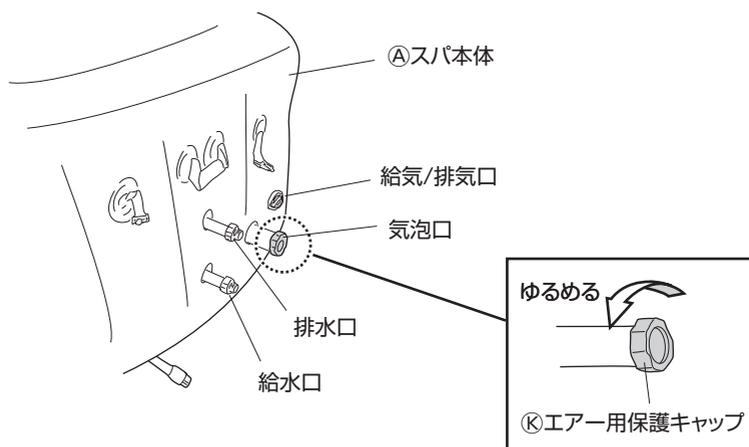
2. 電源アダプターの「TEST」を押します。

3. 電源アダプターをコンセントから抜きます。



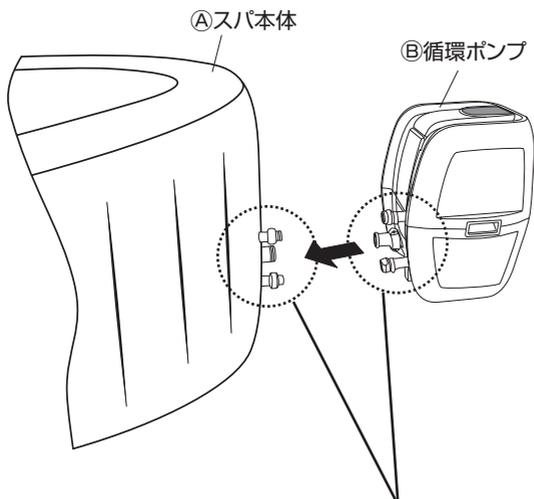
## 8 スパ本体と循環ポンプを接続します

1. ①スパ本体の気泡口から⑨エア用保護キャップを取り外します。

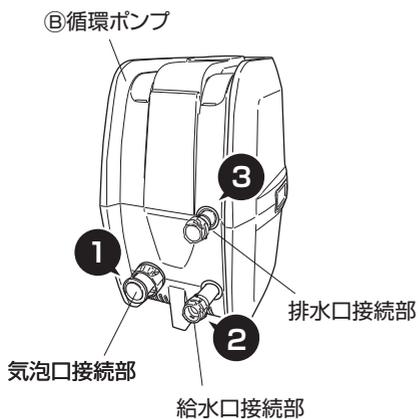


# 組立方法

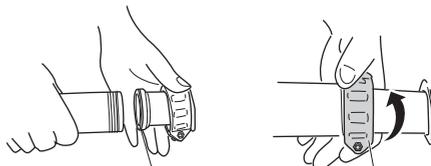
2. ④スバ本体と⑤循環ポンプを接続します。



①→②→③の順番で接続してください。



## 気泡口接続部

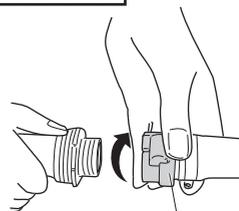


パッキン

※パッキンを必ず、取り付けてください。

固定部  
※締める

## 給水口・排水口接続部

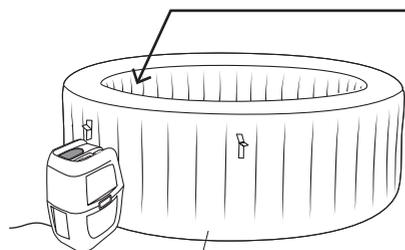


固定部  
※締める

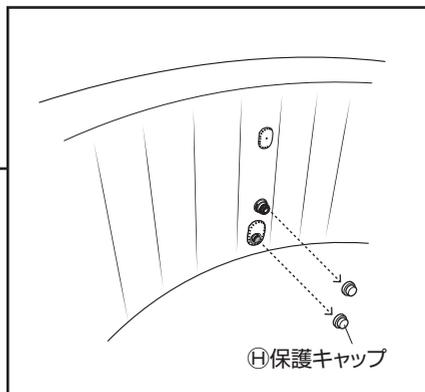
# 組立方法

## 9 給水・排水カバーを取り付けます

1. ①スパ本体内側の②保護キャップを外します。



①スパ本体

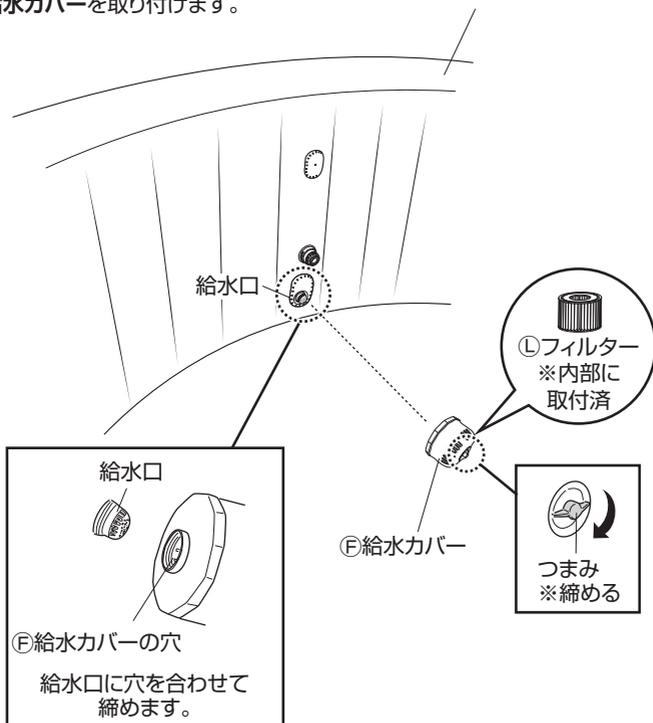


※②保護キャップを外す際、スパ本体側の部品が外れる場合があります。外れたときは、再度、取り付けてください。

2. ①スパ本体内側の給水口に

③給水カバーを取り付けます。

①スパ本体

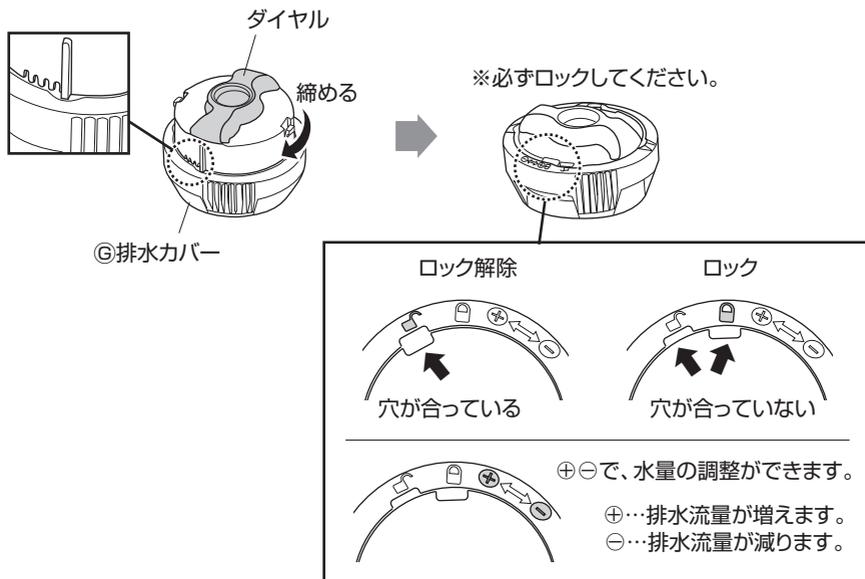


# 組立方法

3. ㉔排水カバーがしっかり締められているか確認します。

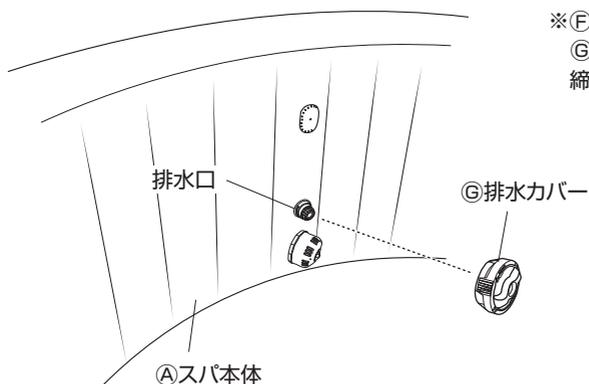
※内部に塩素等を投入することができます。水質管理については、

P.25「必ず守ってください【水質管理について】」を参照。



4. ㉔排水カバーを㉑スパ本体内側の

排水口に取り付けます。

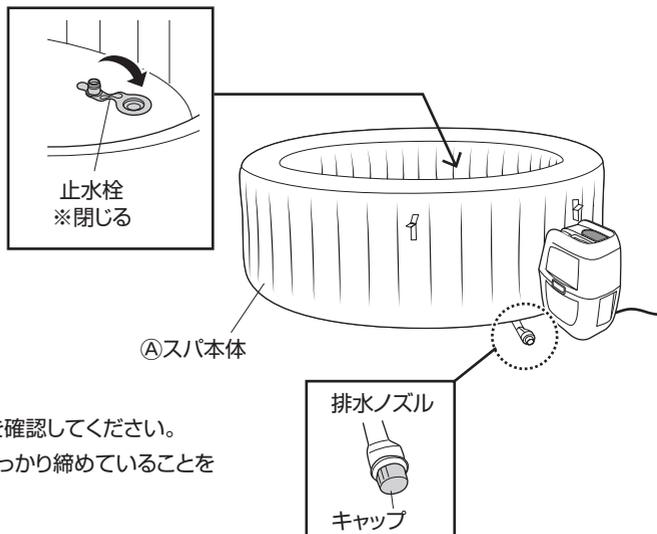


※㉑給水カバー取り付け時と同様に、  
㉔排水カバーの穴と排水口を合わせて  
締め込みます。

# 組立方法

## 10 スパ本体に水を入れます

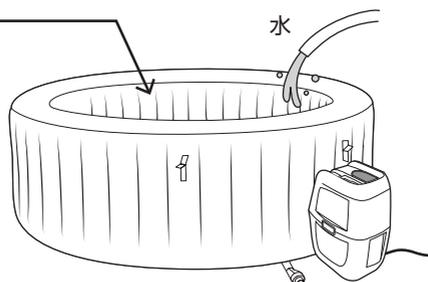
① スパ本体に水を入れます。



- ※ 止水栓が閉じていることを確認してください。
- ※ 排水ノズルのキャップをしっかり締めていることを確認してください。



- 入れる水の量は  
MIN.(最小量)から  
MAX.(最大量)の  
間で調整してください。
- ※ スパ本体内側に  
記載しています。



※必ず水道水を使用してください。

## 11 完成 ※使用しないときは、③カバーを取り付けてください。

再度、電源アダプターをコンセントに差し込み、主電源を入れます。

※電源の入れ方はP.8「3 電源を入れます」を参照。

※電源の切り方はP.13「7 電源を切ります」を参照。

※コントロールパネルで、水温の設定や気泡発生等ができます。

P.22「使用方法【コントロールパネルについて】」を参照。

# 使用方法【水温について】

スパの水温は40°C(104°F)を超えないようにしてください。

水温は38°C(100°F)から40°C(104°F)が、健康な成人にとって安全で快適とされています。

## ■水温による分類

水温	入浴の種類	要旨(参考)
25°C未満	冷水浴	
25°C～34°C	低温浴	
35°C～36°C	不感温度浴	熱くも冷たくもなく、血圧や心拍などの生理機能の変化が殆ど認められない。
37°C～39°C	微温浴	38°C以上となると、心拍数・心拍出量などが増加してくる。
40°C～41°C	温浴	
42°C以上	高温浴	入浴直後から血圧が上昇しはじめ、高血圧・動脈硬化が現れ、交感神経を緊張させ血管を収縮させる作用がある。

- 小さなお子様や、10分以上スパをご利用になる場合は、低めの水温をおすすめします。
- 過度の水温は、妊娠初期の胎児に障害を与えるおそれがあります。妊娠中または妊娠の可能性のある女性は、スパの水温を38°C(100°F)までに抑えてください。また、1回の使用は10分以内にしてください。
- 水温が熱すぎると感じたら、スパに入る前に、温度計で正確な水温を測ってください。水温が45°C(113°F)を超える場合は、水温が40°C(104°F)以下になるまでスパの使用を中止してください。外部温度計を使用する場合は、コントロールパネルに表示される温度と、外部温度計に表示される温度が異なる場合があります。その差は3°C程度です。2つの計器にて温度を読み取ると正常値が判断できます。
- スパ浴槽内に40°C(104°F)を超えるお湯を注がないでください。

### コントロールパネル

こちらのパネルに  
水温が表示されます



コントロールパネルでの水温の表示が「°C」(摂氏)と「°F」(華氏)で表示が可能です。水温の設定時は、注意してください。

### ■摂氏・華氏 表示例

摂氏(°C)	華氏(°F)
20	68
25	77
28	82.4
30	86
32	89.6
34	93.2
36	96.8
38	100.4
40	104

コントロールパネル



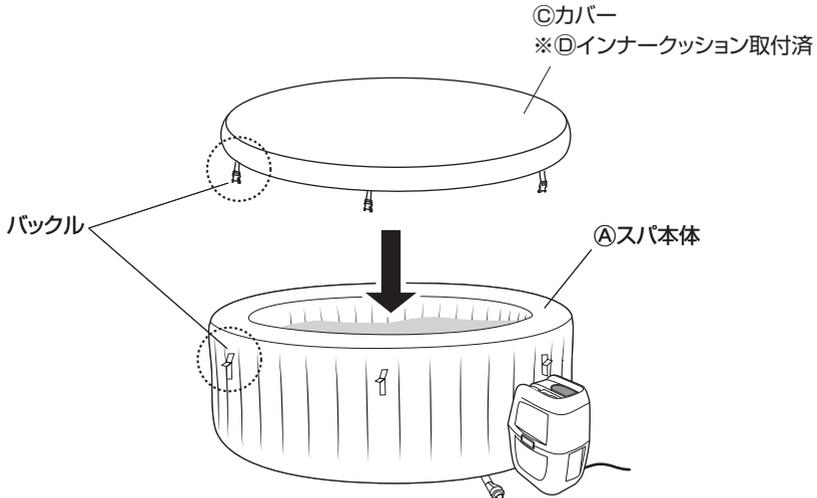
# 使用方法【水の温め方】

1. ①スパ本体に水が適量入っていることを確認します。

②スパ本体に③カバーをかぶせます。

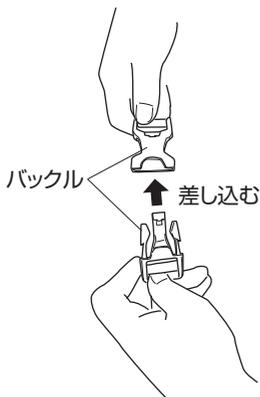
※必ず、③カバーに④インナークッションを入れてください。

2. ①スパ本体と③カバーのバックルの位置を合わせて、すべてのバックルを固定します。

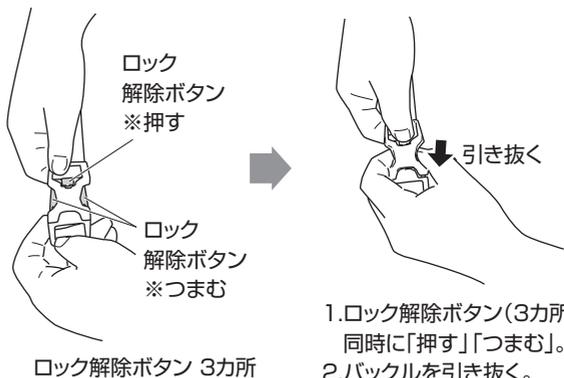


## バックルの使い方

### ●固定時



### ●解除時



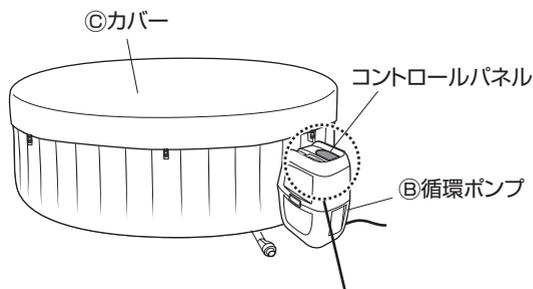
# 使用方法【水の温め方】

3. ③循環ポンプのコントロールパネル「温めモード」で、水を温めます。

※主電源が入っていることを確認してください(ロックがかかっている場合は解除してください)。

※温めの開始時間をタイマーで設定できます。

詳しくは、P.22「使用方法【コントロールパネルについて】」を参照。



※必ず③カバーを取り付けてください。  
ホコリやゴミ等を防ぐだけでなく、熱が逃げにくくなります。

※③カバーを取り付けていない場合、水の温めに、通常より時間がかかります。

## 1. 水温を設定します

▲▼ を押し、水温を設定します。

ディスプレイが点滅し、設定温度が3秒間表示された後、実際の水温が表示されます。

表示が点滅している間は、▲▼ で温度調整ができます。初期値は35℃(95°F)です。

※温度調整可能範囲：20～40℃(68～104°F)

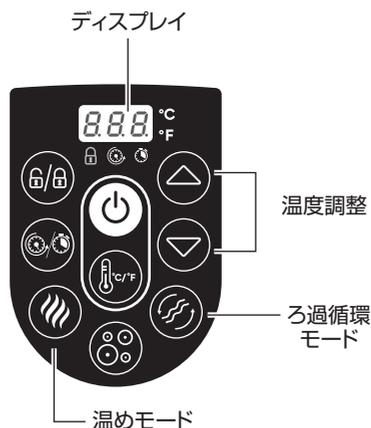
## 2. 温めモードを起動させます

🔴 を押し、温めモードが起動します。

🔴 が赤色に点灯している時は、温めモードが作動中です。水温が設定温度になると、🟢 が緑色に変わります。

温めモードが作動すると、ろ過循環モードが自動的に開始します(🟡 が赤色に点灯)。温めモードを切っても、ろ過循環モードは引き続き稼働します。

※ろ過循環モードを再度押して停止させたり、主電源を落としていたりして稼働を中断させた場合でも、数秒間作動します。



以下の場合、温めモードが正常に作動しない場合があります

- 気温が15℃(59°F)以下の場合
  - カバーが取り付けられていない場合
  - ろ過循環モードが稼働していない場合…ディスプレイに表示される水温に誤差がある生じるおそれ
- ※正しい水温を確認するためには1分以上、ろ過循環モードを起動させてください。
- ※外付けの温度計とコントロールパネルのディスプレイに表示される水温には約3℃の差が生じることがあります。

## 使用方法【温め時間について】

※水温が40°C(104°F)になるまでの温め時間は、温め前の水温、周囲温度により異なります。

※水温をディスプレイで確認するためには、1分以上、「ろ過循環モード」を稼働してください。

ろ過循環モードの作動方法については、P.22「使用方法【コントロールパネルについて】」を参照。

■**温め時間の目安** ※参考値です。周辺の環境により、温め時間は変動します。

周囲温度 / 水温	設定温度	温め時間
10°C(50°F)	40°C(104°F)	<b>23~40時間</b>
15°C(59°F)		<b>18~36時間</b>
20°C(68°F)		<b>13~29時間</b>
25°C(77°F)		<b>9~20時間</b>
30°C(86°F)		<b>7~15時間</b>

※温めモードが作動中は必ず、**◎カバー**を取り付けてください。

取り外した状態では、温めに必要な時間が長くなります。

※気温が6°C(42.8°F)以下の場合、水を張った状態のまま、温めモードを切らないでください。

# 使用方法【コントロールパネルについて】

コントロール  
パネル



角度調整が可能

⑧循環ポンプ

⑧循環ポンプのコントロールパネルで  
各種操作を行います。

赤色に点灯した  
項目が稼働中です。



ロック状態



保温時間



温め開始  
時間

ロック/  
ロック解除



主電源  
オン/オフ



タイマー



温めモード



ディスプレイ

8.8.8

※主電源入ると、その時点の気温を表示。  
そのほか、タイマー時間や設定温度が  
表示されます。

°C

摂氏

°F

華氏

※選択している  
方が赤く点灯

温度調整

※タイマー設定時にも  
使用



ろ過循環モード



摂氏/華氏 切り替え

気泡発生モード



# 使用方法【コントロールパネルについて】

## ■ボタンの機能

マーク	名称	詳細説明
	主電源 オン/オフ	電源へ接続した後、主電源を押します(長押しタッチ)。ボタンが緑色になれば、コントロールパネルを操作することができます。再度、ボタンを押す(長押しタッチ)と、電源をオフにすることができます。
	摂氏/華氏 切り替え	ボタンを押して、ディスプレイでの温度表示を摂氏(°C)または華氏(°F)に切り替えることができます。
	ロック/ ロック解除	5分以上操作しないと、自動ロックがかかり、ボタンが赤色に点灯します。ロック/ロック解除をするためにはボタンを押してください(長押しタッチ)。
	温度調節	いずれかのボタンを押すと、ディスプレイが点滅し、設定温度が3秒間表示された後、実際の水温が表示されます。表示が点滅している間は、上下の矢印ボタンで温度調整ができます。 初期値は35°C(95°F)です。 温度調整可能範囲：20～40°C(68～104°F)
	タイマー	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. を押します。</li> <li>2. ディスプレイ下の  が点滅します。※保温時間の設定</li> <li>3.   で保温時間を設定します。(1～999時間)</li> <li>4. 再度、 を押します。保温時間の設定が完了します。</li> <li>5. ディスプレイ下の  が点滅します。※温めモードの開始時間の設定</li> <li>6.   で温めモードの開始時間を設定します。(0～999時間) ※タイマーが0時間の場合、温めモードは自動的にスタートします。</li> <li>7. 再度、 を押す、または10秒間操作を行わないと、 温めモードの開始時間の設定が完了します。</li> </ol> <p>※  が常時点灯になれば、温めモード開始までの待ち状態になります。 ※ディスプレイには現在の水温と設定時間が交互に表示されます。</p> <p>【タイマー設定の修正】  を押して、  で時間を調整します。</p> <p>【タイマー設定のキャンセル】  を再度押してください。</p> <p>※タイマー作動時、温めモード以外(気泡発生、ろ過循環)の機能は使用可能です。</p>

## 使用方法【コントロールパネルについて】

マーク	名称	詳細説明
	温めモード	ボタンを押すと温めモードが作動します。 赤色に点灯している場合、温めモードが作動中です。 水温が設定温度に達すると、ボタンが緑色に変わります。 温めモードが作動すると、ろ過循環モードが自動的に開始します。 温めモードを切っても、ろ過循環モードは継続して稼働します。
	気泡発生モード	ボタンを押すと気泡発生モードが開始します。(30分後に自動的に終了) 気泡発生モード作動中、ボタンは赤色になります。 温めモードと気泡発生モードは同時に使用することができます。 ※カバーを取り付けたままで気泡発生モードを作動させないでください。スパ内に空気が蓄積し、カバーに修理不可能な損傷が生じるおそれがあります。
	ろ過循環モード	ボタンを押すとフィルターポンプ(排水口から給水口への水の循環)のオン/オフが操作できます。作動中はボタンが赤色に変わります。

※濡れた手でコントロールパネルを使用しても問題ありません。

※ボタンが破損している場合は、内部に水が浸入するおそれがあるため、使用しないでください。

# 必ず守ってください【水質管理について】

- 水を入れた状態で放置すると、雑菌が繁殖し、水質が低下します。適量の塩素または次亜塩素酸ナトリウムを投入し、水質の管理を行ってください。※投入しない場合は、2日以内に水を交換してください。
- 木の葉、落ち葉、チリ、ホコリ、虫の死がいなどの不純物侵入防止のため、専用カバーで保護してください。
- こまめに検査し、不純物は取り除いてください。※検査は2日に1回程度が目安です。

## 塩素および次亜塩素酸ナトリウムについて

市販されている残留塩素試験紙や残留塩素測定器などでこまめに水質の検査を行ってください。  
測定した塩素の量は、必ず記録してください。

- プール本体底面に薬剤が溜まらないようにしてください。濃度の高い状態で投入すると、本体の破損や劣化の原因となります。バケツなどである程度、溶かしてから投入するなどしてください。
- 塩素濃度の目安は、0.7ppm程度です。厚生労働省の指針により、家庭用遊泳用プールは「0.4～1.0ppm」の塩素濃度を維持する必要があります。
- 気温や日差し、紫外線などの影響を受け、塩素濃度が低下します。
- 水温が上昇すると、水蒸気の影響などにより、塩素濃度が上昇し、管理値を超えることがありますので、注意してください。
- 過剰な薬品の使用は、劣化や変色、破損の原因になるおそれがあります。
- ご購入の薬剤に記載の取り扱い上の注意を必ず確認してください。
- 塩素などの薬剤はお子様の手に触れない場所で保管する等、取り扱いには十分注意してください。

※ppmとは：parts per million(パーツ・パー・ミリオン)の略です。液体に含まれている微量な濃度に使用される単位。  
100万分の1という割合です。1ppm=1mg/L=0.0001%

### ◆塩素剤の必要量(gまたはml)=60～70%

$$\text{プールの水量 (m}^3\text{)} \times \frac{\text{目標塩素濃度 (mg/L)} - \text{現状塩素濃度 (mg/L)}}{\text{使用する塩素剤の有効塩素濃度 (\%)}} \times 100$$

### ◆次亜塩素酸ナトリウムの注入量(ml)=12%

$$\text{目標濃度 (mg/L)} \times \text{原水量 (m}^3\text{)} \times \text{希釈倍率} \times 100 \div \text{NaClO濃度 (\%)} \text{【} \div \text{NaClO(比重)} \text{】}$$

※次亜塩素酸ナトリウム(12%)の比重は一般的には1.1～1.2程度です。

※使用する薬剤によって、濃度が大きく変わります。上記は希釈値の参考式です。  
使用する薬剤の用法用量に合わせてください。

# 必ず守ってください【水質管理について】

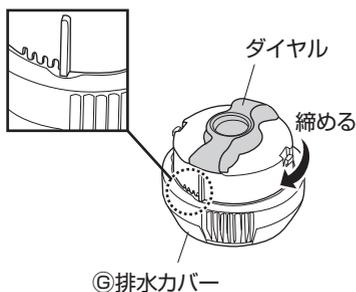
## pH(水素イオン濃度)について

- 水の根本的な性質である、酸性、中性、アルカリ性を示す指標が、pH(水素イオン濃度)です。pH7を中性、pH7以上を酸性、pH7以下をアルカリ性と呼びます。水道法によると、pH値5.8以上8.6以下を基本的な水質基準値の指標とされています。

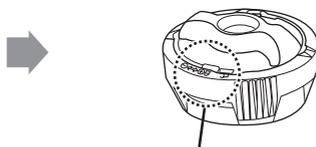
### 排水カバーへの薬剤投入について

※安全のため、電源を切ってください。

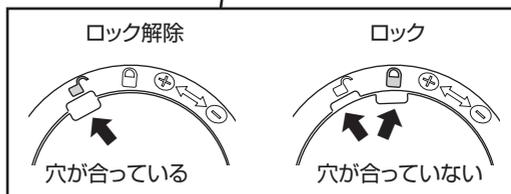
1. ①スパ本体から②排水カバーを取り外します。
2. ②排水カバーを開けて、塩素等の薬剤を入れます。
3. ②排水カバーを元通りに組み立てます。



※必ずロックしてください。



※投入後、元通り組み立てて、①スパ本体に再度取り付けてください。

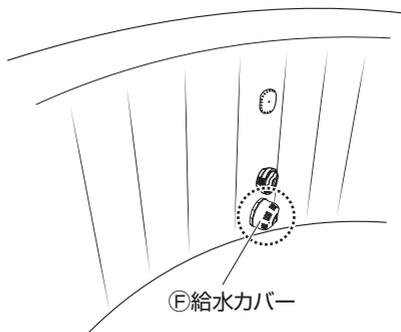


# 必ず守ってください【フィルターの洗浄、交換について】

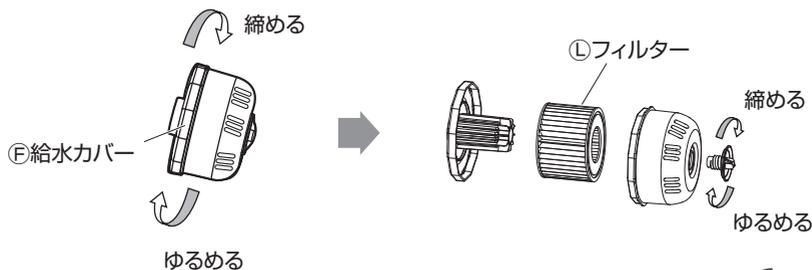
定期的にフィルターの洗浄(目安:2~3日ごと)または、交換を行ってください

※安全のため、電源を切ってください。

1. ④スパ本体から⑤給水カバーを取り外します。



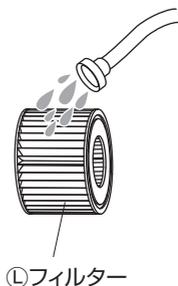
2. ⑤給水カバーから①フィルターを取り外します。



3. ①フィルターを洗います。

※汚れがひどい場合は、交換をおすすめします。別売のエアジェット フィルターカートリッジ 2個セット(品番 60311)を使用してください。

※洗浄または交換後、元通り組み立てて、④スパ本体に再度取り付けてください。

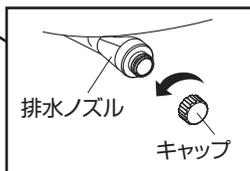
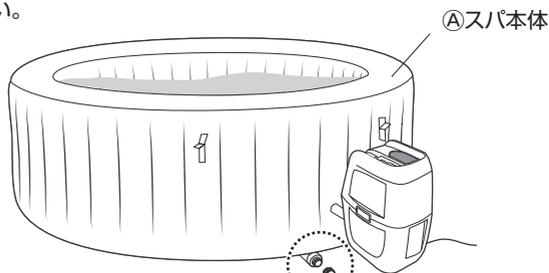


# 収納方法

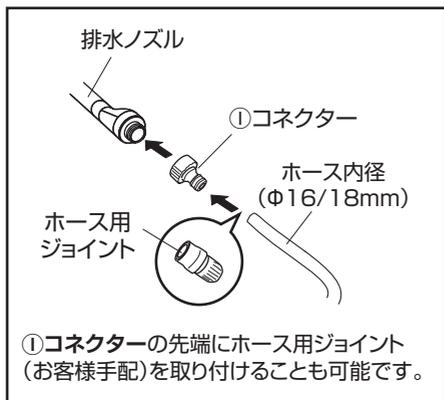
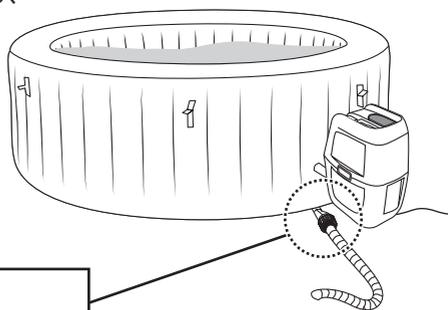
※安全のため、電源を切ってください。

## 1 排水します

1. ④スパ本体の排水ノズルからキャップを外します。



2. 排水ノズルに①コネクターを取り付け、ホース用ジョイントまたはホース(いずれもお客様手配)を接続します。

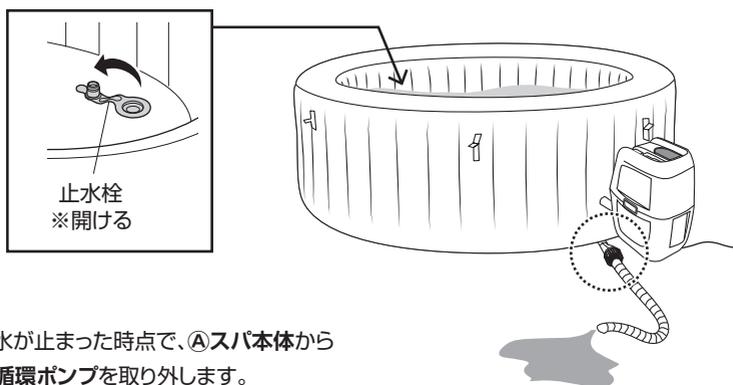


ホース(お客様手配)  
※市販のホース用  
ジョイントも接続できます。

# 収納方法

3. ㊸スパ本体内側の止水栓を開けます。

止水栓を開けると、ホースから排水が始まります。

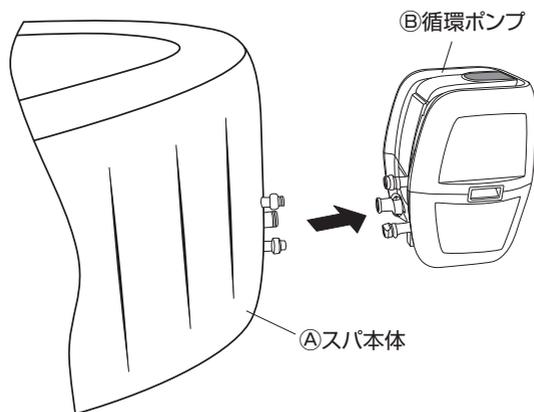


4. 排水が止まった時点で、㊸スパ本体から

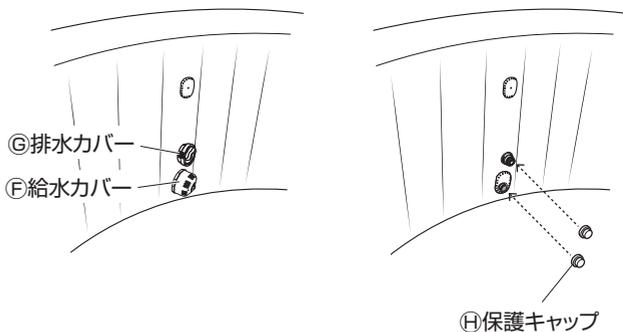
㊹循環ポンプを取り外します。

※取り付けた時と逆の手順で行ってください。

※スパ底面に水が残ります。すべての水の排出はできません。



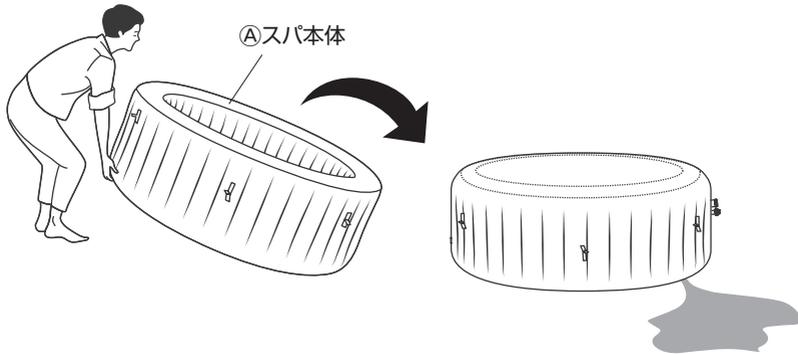
5. ㊺給水カバーと㊻排水カバーを  
取り外します。



6. ㊼保護キャップを取り付けます。

# 収納方法

7. ④スパ本体をひっくり返して、残った水を捨てます。



## 2 スパ本体の汚れを落とします

④スパ本体内側を水と中性洗剤で洗い、ぬめりや汚れを取り除きます。

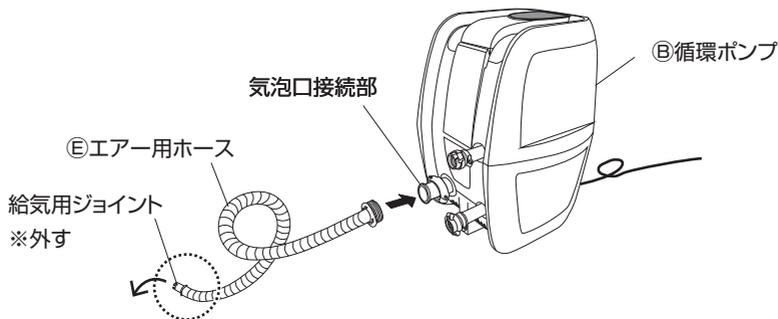
※ブラシできつく擦ったり、研磨剤入りの洗剤等は使用しないでください。

※汚れ等が残った状態で使用すると、雑菌が繁殖しやすくなったり、スパの劣化が著しく進行するおそれがあります。

## 3 循環ポンプを乾燥させます

1. ⑥循環ポンプの気泡口接続部に⑤エア用ホースを接続します。

※組立方法「2 循環ポンプにエア用ホースを接続します」(P.7)参照。

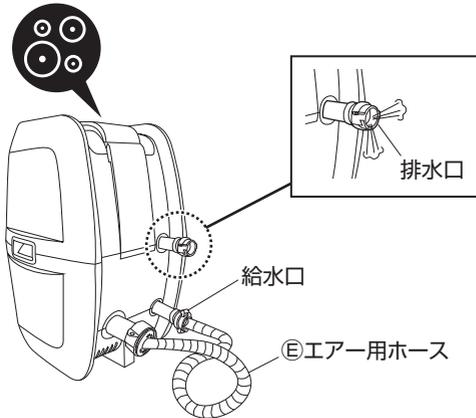


# 収納方法

2. ㊸循環ポンプの電源アダプターをコンセントに差し、主電源を入れます。

3. ㊸エア用ホースを㊸循環ポンプの給水口に差し込みます。

コントロールパネル「気泡発生モード」を押します。



※排水口より空気がでて、ポンプ内部の乾燥を行います。

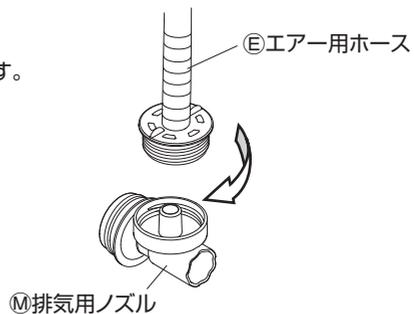
4. ㊸循環ポンプの排水口から水が出なくなったことを確認します。

コントロールパネル「気泡発生モード」を押し、給水口から㊸エア用ホースを抜きます。

※自然乾燥させてください。

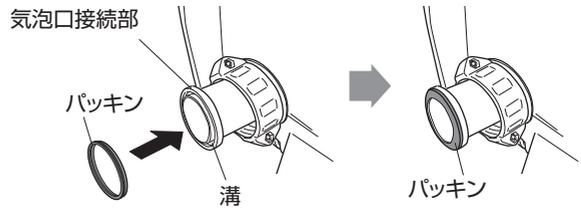
## 4 スパ本体の空気を抜きます

1. ㊸排気用ノズルに㊸エア用ホースを接続します。

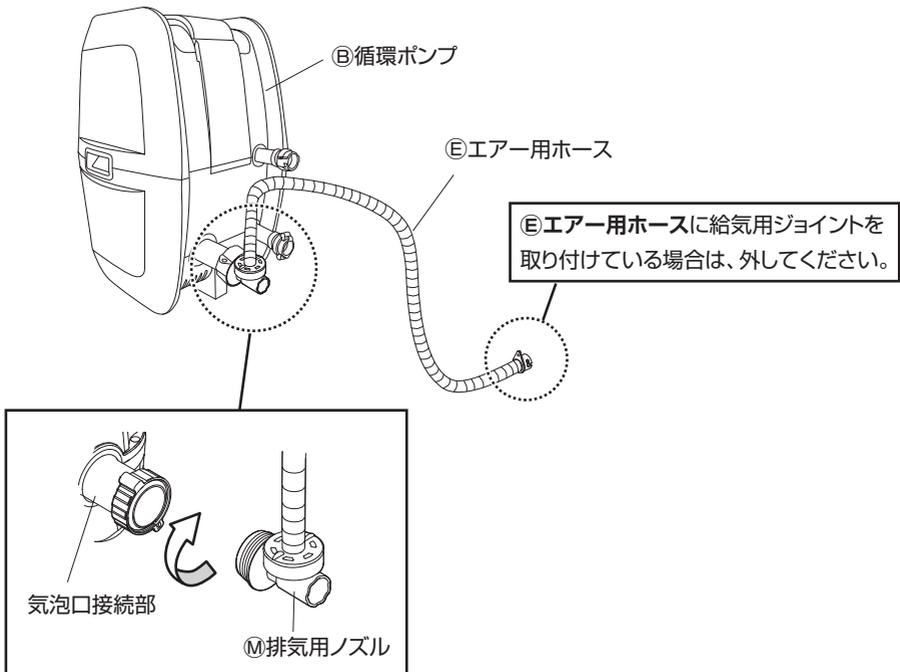


# 収納方法

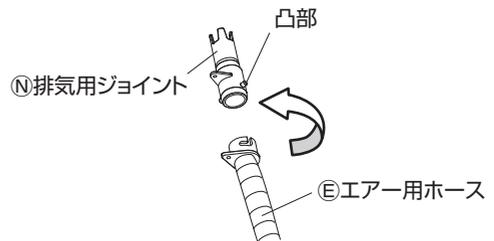
2. ⑧循環ポンプの気泡口接続部にパッキンを取り付けます。



3. ⑧循環ポンプの気泡口接続部に⑭排気用ノズルを接続します。



4. ⑤エア用ホースに⑮排気用ジョイントを取り付けます。

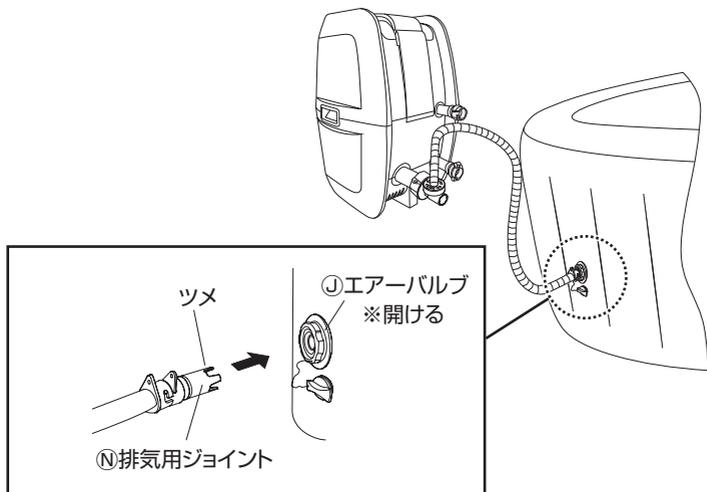


# 収納方法

5. ①エアバルブを開きます。

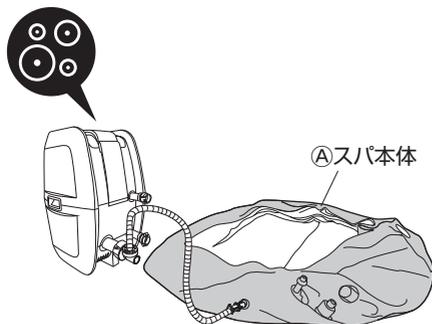
6. ①エアバルブに⑨排気用ジョイントを差し込みます。

※⑨排気用ジョイントが奥までささらないときは、左右にひねり、位置を調整してください。(ツメがエアバルブ内のストッパーに引っかかります)



7. コントロールパネル「気泡発生モード」を押します。

※空気の吸引が始まります。



※吸引しながら、(A)スバ本体を折りたたむとコンパクトになります。

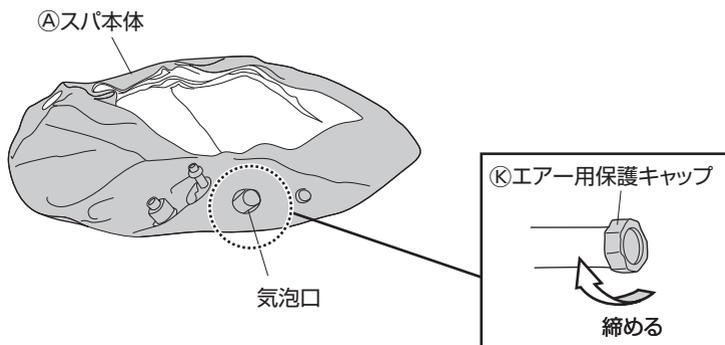
※(D)インナークッションも同様に、  
⑨排気用ジョイントを給気口に差し込み、「気泡発生モード」で空気を吸引します。

8. 空気が抜けたあと、コントロールパネル「気泡発生モード」を押し、①エアバルブから

⑨排気用ジョイントを抜きます。

# 収納方法

9. ④スパ本体の気泡口に⑤エア用保護キャップを取り付けます。



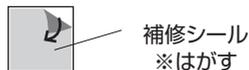
## 5 保管します

- ※各部品が洗浄および乾燥されていることを確認してください。
- ※完全に乾いていない状態で保管すると、カビが発生したり、スパが破損するおそれがあります。
- ※10～38℃の乾燥した適切な温度の場所で保管してください。
- ※気温が低くなる冬期は、スパやカバー等は、段ボール箱に入れて保管してください。

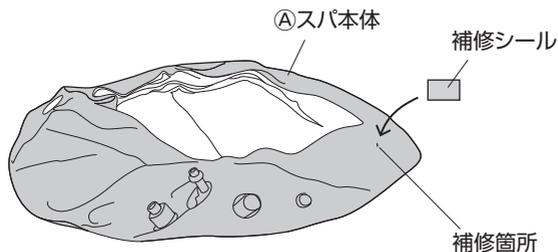
# 補修方法

小さい穴は、付属の補修シールで簡易的にふさぐことができます

1. 補修箇所をきれいにします。
2. 補修シールの粘着部分を慎重に剥がします。



3. 補修シールで補修箇所を覆います。
4. 補修シールをなじませた後(約30秒以上)、④スパ本体をふくらませます。



# 故障かな?と思ったら…

下記の点検をしていただき、それでも不具合がある場合、  
ご購入された販売店にご連絡ください。

症状	想定される原因	対処方法
循環ポンプが 作動しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源コンセントが抜けている。</li> <li>●循環ポンプの主電源が入っていない。</li> <li>●漏電や停電</li> <li>●電源回路の故障</li> </ul>	電源を確認してください。
カバーをしているが、 水温が上がらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●温度設定が低すぎる</li> <li>●フィルターの汚れ</li> <li>●カバーが取り付けられていない。</li> <li>●循環ポンプの不具合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高い温度に設定する ※P.22「使用方法【コントロールパネルについて】」参照</li> <li>●フィルターを洗浄または交換する ※P.27「必ず守ってください【フィルターの洗浄、交換について】」参照</li> <li>●カバーを取り付ける※バックルで固定</li> </ul>
気泡発生モードが 動かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●循環ポンプの過熱</li> <li>●気泡発生モードの自動タイマーが作動したため</li> <li>●循環ポンプの故障</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ポンプを冷ますため、プラグを抜き2時間放置する。その後、電源プラグを差し込み、再度、コントロールパネル「気泡発生モード」を押す。</li> <li>●再度、コントロールパネル「気泡発生モード」を押し、再稼働させる</li> </ul>
循環ポンプとスバ 本体の接続部分の 高さが合わない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●設置される地面に傾斜や凹凸がある</li> </ul>	木材や、その他の絶縁材を使用して高さを調整する
水が漏れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スバが破れている、または穴が空いている</li> <li>●エアーバルブがゆるんでいる</li> <li>●給水口、排水口の接続部がゆるんでいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●付属の補修パッチを使用する</li> <li>●石鹸を含んだ水を用いて、エアーバルブの空気が漏れているか確認する。空気が漏れている場合、バルブを締める(時計回りに回す)</li> </ul>
水が汚れる、 清潔でない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ろ過時間が不足している</li> <li>●フィルターが汚れている</li> <li>●水のメンテナンスが適切でない</li> <li>●水道水以外の水を使用している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水を入れ替える(水道水を使用する)</li> <li>●ろ過時間を延長する</li> <li>●フィルターを洗浄または交換する ※P.27「必ず守ってください【フィルターの洗浄、交換について】」参照</li> <li>●水質確認検査を実施する ※P.25「必ず守ってください【水質管理について】」参照</li> </ul>

# エラーコードについて

コントロールパネルのディスプレイにエラーコードが表示されることがあります。対処方法に従い、エラーを解除してください。



エラーコードと内容	原因	対処方法
 <b>【E01】</b> フィルターあるいは温めボタンを押さずに水流センサーが作動。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水流センサーフラッグが正しい位置に戻っていない。</li> <li>● 水流センサーの故障。</li> </ul>	電源プラグを取り外し、側面を軽くたたき、再度、電源プラグを差し込んでください。 上記の動作を行ってもエラーが解除されないときは、水流センサーが故障してるおそれがあります。購入した販売店にお問い合わせください。
 <b>【E02】</b> ろ過循環モード、温めモードの両方または、いずれかが作動中、水流センサーが水流を検知していない。	スパ内から保護キャップを取り外していない。	温めモード作動前に、保護キャップ(2個)を取り外します。※P.15に記載
	フィルターが汚れている、または詰まっている。	スパ内からフィルターを取り外し、ろ過循環モードまたは温めモードを稼働させます。エラーコードが表示されない場合は、フィルターを洗浄または交換してください。 エラーコードが解除されない場合は、水流センサーが故障してるおそれがあります。購入した販売店にお問い合わせください。
	循環ポンプの排水口や給水口のパイプが曲がり、水流が弱くなっている。	曲がっている場合は、まっすぐにする。
	循環ポンプの排水口や給水口のパイプが詰まっている。	スパの水を抜き、ホースをパイプの中に通して、汚れを洗います(スパの外・内側いずれも)。しつこい汚れは歯ブラシを用いて取り除いてください。
 <b>【E03】</b> ポンプの温度計が4℃(40°F)以下を表示している。	循環ポンプの気泡口接続部のパッキンが、劣化している。	パッキンに損傷がないか確認します。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水温が4℃(40°F)以下。</li> <li>● 水温が7℃(44.6°F)以上の場合、ポンプの温度計が故障している。</li> </ul>	4℃(40°F)以下の水温では、循環ポンプが作動しません。循環ポンプの電源プラグを抜いて、水温が6℃(43°F)以上になったら、ポンプを再稼働させてください。

# エラーコードについて

エラーコードと内容	原因	対処方法
 <b>[E04]</b> ポンプの温度計が50℃(122°F)以上を表示している。	水温が50℃(122°F)以上。 周囲温度が40℃(104°F)以上、または、長時間直射日光にさらされている。	40℃(104°F)以上の水温では、循環ポンプが作動しません。循環ポンプの電源プラグを抜いて、水温が38℃(100°F)以下になったら、ポンプを再稼働させてください。 1.電源プラグを抜きます。 2.循環ポンプを取り外して、スパの水を抜きます。 3.15分後再びポンプを取り付け、電源を入れます。 4.コントロールパネルの「温めモード」を押し、再稼働させます。 ※エラーコードが消えない場合は、直射日光の当たらない場所に移動させてください。
 <b>[E05]</b> ポンプの温度計接続に問題がある。	温度センサーと電子基板の接続の不具合。	電源プラグを抜き、5分待ってから、循環ポンプを再稼働させてください。
 <b>[E08]</b> ポンプの温度計が水温52℃(125.6°F)を表示している。	水温が52℃(125.6°F)以上。 周囲温度が40℃(104°F)以上、または、長時間直射日光にさらされている。	40℃(104°F)以上の水温では、循環ポンプが作動しません。循環ポンプの電源プラグを抜いて、水温が38℃(100°F)以下になったら、ポンプを再稼働させてください。 1.電源プラグを抜きます。 2.循環ポンプを取り外して、スパの水を抜きます。 3.15分後再びポンプを取り付け、電源を入れます。 4.コントロールパネルの「温めモード」を押し、再稼働させます。 ※エラーコードが消えない場合は、直射日光の当たらない場所に移動させてください。
 <b>[E18]</b> アース線から電力を検出	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 漏電</li> <li>● ポンプの故障</li> </ul>	至急、使用を中止し、購入した販売店にお問い合わせください。
 <b>[6CF]</b> アース接地の不具合	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 漏電</li> <li>● ポンプの故障</li> </ul>	至急、使用を中止し、電気有資格者に点検を依頼してください。アース接地の不具合が改善され、異常がないことをご確認の後、使用を再開してください。

# 仕様

## ■スパ本体

品番	使用環境	サイズ	本体重量	水の容量
60002	屋内／ 屋外	約幅230×奥行180×高さ66cm	30kg	最大 684ℓ/684kg
60016		約幅232×奥行182×高さ63cm	33.5kg	最大 827ℓ/827kg

材質：塩化ビニル樹脂、ABS樹脂

※接地面の耐荷重をご確認の際は、本体重量+水の容量+ご利用者の総重量を加算してください。

## ■電気特性の仕様

出力	マッサージ チューブの電力	ヒーターの 発熱体	入力電流(A) 最大	ポンプ出力
100V AC, 50/60Hz, 単相交流 1200W (20℃)	650W	1150W (20℃)	11.5	50W

◆商品の形状、仕様等が、出荷時期によって、予告なく変更される場合があります。  
ご了承ください。

MADE IN CHINA

◆ご不要になった商品は、地域の条例等に従って正しく処分してください。

## 株式会社タカショー

本社 〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂20-1  
<https://homeuse.takasho.co.jp>

【お客様サービスセンターにおけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

株式会社タカショーおよびタカショーグループ関連会社は、お客様の個人情報をご相談対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために、発信番号を通知いただいております。なお、個人情報は適切に管理し、業務上、正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、お客様サービスセンターまでご連絡ください。

商品の交換や返品などのお問い合わせは、  
お買い上げいただいた代理店または販売店にご相談ください

商品の使い方についてのお問い合わせ

よくいただく  
Q&A集



お問い合わせ  
フォーム



その他のお問い合わせ

お客様サービスセンター  
0120-51-4128 (通話料無料)

受付時間  
月～金 AM9:00～PM5:00  
(祝日は除く)